

作成日 2025 年 6 月 4 日
(最終更新日 20 年 月 日)

課題名：眼部悪性腫瘍における予後の解析

1. 研究の対象

東京医科大学大学病院眼科において研究代表施設研究計画書に従い被検者より採取された組織、EDTA 血漿、眼内液性成分（前房水、硝子体）

2. 研究実施期間

研究実施期間：承認日～2027 年 12 月 31 日

3. 研究目的・方法

研究目的：眼内に発生する悪性腫瘍の中でも網膜芽細胞腫、眼部悪性リンパ腫、眼部悪性黒色腫は悪性度が極めて高く、放置すれば視機能を失うだけでなく死に至る疾患です。本研究は、眼部悪性腫瘍におけるマルチオミクス解析データと臨床データを比較解析することにより各疾患の予後規定因子を明らかにすることを目的とします。

研究方法：体液（血漿、眼内液性成分）中細胞外小胞、および組織試料からそれぞれタンパク質を抽出し、質量分析装置にて網羅的定量プロテオーム解析を実施します。当データセットと研究代表施設より提供される臨床情報に基づいて統計解析を行い、各疾患の予後と相関するタンパク質バイオマーカーの同定を行います。

使用する研究費は研究代表機関である東京医科大学大学病院眼科より提供を受けます。外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：匿名化被験者番号、疾患名、組織型、治療内容、治療実施時、再発時、死亡時などの日付け

試料：組織、EDTA 血漿、眼内液性成分（前房水、硝子体）

5. 外部への試料・情報の提供

解析結果はパスワード付き電子ファイルとして研究代表施設に電子メールにて送付します。

6. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は、「研究許可日～」として下さい。

利用開始予定日：研究許可日～

提供開始予定日：研究許可日～

7. 研究組織・研究責任者

研究代表者

東京医科大学眼科学分野

主任教授

後藤 浩

共同研究者（プロテオーム解析担当）

がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター がんオーダーメイド医療開発プロジェクト

責任者：プロジェクトリーダー・植田 幸嗣

担 当：特任研究助手・新地 大樹

共同研究者（ウイルス DNA、RNA 解析担当）

国立感染症研究所 感染病理部

責任者：室長・片野 晴隆

研究分担者：部長・鈴木 忠樹

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。